

ザポロジエ

# 原発外部電源を喪失

## ロシアが各地攻撃 5人死亡

ウクライナ各地で8日夜から9日朝にかけて、ロシアによる激しい攻撃が続きました。西部リビウ州と東部ドニエプロペトロフスク州では計5人が死亡。一方、ウクライナの原子力企業エネルギーアトムは9日、通信アプリ「テレグラム」

を通じて、ロシアの攻撃により南部ザポロジエ原発が外部電源を喪失したと明らかにしました。非常用のディーゼル発電機が稼働しているといいます。エネルギーアトムは声明で、「攻撃の結果、占領下にあるザポロジエ原発とウ

クライナの電力系統の間の最後の回線が切断された」と指摘しました。ウクライナ軍のザルジニ総司令官は9日、声明で、ロシアが極超音速ミサイル「キンジャル」6発を含むミサイル81発を発射し、ウクライナ軍はそのう

ち巡航ミサイル34発を撃墜したと発表。無人機（ドローン）8機も飛来しましたが、そのうち自爆ドローン4機は撃墜に成功したとい

います。AFP通信によると、リビウ州のコツッキー知事は9日、通信アプリで、ロシアのミサイルが住宅に直撃し、男女4人が死亡したと明らかにしました。ドニエプロペトロフスク州でも、砲撃により30代の男性が死亡しまし

た。

重要インフラも被害を受けており、AFPによると、首都キーウ（キエフ）の軍当局は、市民の40%が暖房を使えない状態にあ

ると明らかにしました。北東部の第2の都市ハリコフでは電気、水道、暖房がすべて止まったといいます。

(時事)